学校番号	４０７

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	総合表現	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等	プレゼミ総合国語（浜島書店）、基礎からの国語表現の実践（啓隆社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・社会人に必要となる基礎的な国語の力を身に付けることを心がけましょう。年間と通じて漢字、語句テストも行います。
・実際に社会で使われているさまざまな文章に触れることで「読む能力」を向上させるとともに、基礎的な知識をさらに発展させ、自分の意思を伝えるための「書く能力」をしっかりと身に付けられるように学習します。
・提出物の期限は守りましょう。定期考査は学習計画を立てて臨んでください。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
語彙を増やし、文章や資料を読み解くために必要な知識を身につける。
【思考力、判断力、表現力等】
他者の意見を取り入れながら、自分で考える力や適切に話したり書いたりする力をつける。
【学びに向かう力、人間性等】
適切な言葉を通じて積極的に他者と関わり、考えを深めようとする姿勢を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけ、適切に使っている。	・「書くこと」、「読むこと」の各領域において，実社会における他者との関わりの中で、伝え合う力を高め、自分の考えを広げたり深めたりしている。 ・「話すこと」の領域について、自らの意見を適切に表現する力を身につけようとしている。	・適切な言葉を正しく使用することで、積極的に他者と関わったり、考えを深めたりすることで、生涯にわたって役立つ力を身につけようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
	語彙力を高める ［教材］ 基礎からの国語表現の実践 基礎編	a:基礎的な漢字や語句について理解することができる。 b[書]:学んだ漢字や語句を適切に使うことができる。 c:家庭学習における課題に積極的に取り組むことができる。	ワーク 小テスト 定期考査	ワーク 小テスト 定期考査	ワーク 小テスト
	言語活動 ［教材］	a:新聞やニュース等の文章に触れ、社会で起きていることを理解することができる。 b[読]:文章の内容を理解し、自分の言葉でまとめることができる。 c:文章を読むことで実際の社会で起きていることを理解し、自分の意見をまとめようとしている。	ワークシート	ワークシート	ワークシート
	文法を学ぶ ［教材］ 基礎からの国語表現の実践 基礎編	a話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、伝手合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けることができる。 b[書]:文章の内容や構成、展開などを捉えた上で、解答を導くことができる。 c:省略や反復などの表現技法について理解を深め使おうとしている。	ワーク 小テスト 定期考査	ワーク 小テスト 定期考査	ワーク 小テスト
	言語活動 ［教材］	a:社会問題について自分でテーマを決め、新聞やインターネット等の資料をもとに自らの考えをまとめることができる。 b[話／聞]:資料をもとに自ら考え、適切に伝わるよう文章や話し方を工夫することができる。 c:積極的に他者の意見を理解しようとするとともに、自らの考えを深めようとしている。	ワークシート	ワークシート	ワークシート
	表現の特色を理解する ［教材］ 基礎からの国語表現の実践 応用編	a:説明書や報告書の内容を、目的や読み手に応じて再構成し、広報資料などの別の形式に書き換えることができる。 b[書]:文章の内容や構成、展開などを捉えた上で、解答を導くことができる。 c:　紹介、連絡、依頼などの実務的な手紙や電子メールを書こうとしている。	ワーク 小テスト 定期考査	ワーク 小テスト 定期考査	ワーク 小テスト
	言語活動 ［教材］	a:与えられたテーマについて自ら考え、適切に表現することができる。 b[話／聞]:他者の意見を取り入れ、自らの考えを適切に伝えることができる。 c:今までの学習を生かして問いに対する自分の考えを客観的に述べ、他者の意見を踏まえながらよりよいものにしようとしている。	ワークシート	ワークシート	ワークシート

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準ｂ[　]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　２０　）時間

・書くこと　…　（　２０　）時間

・読むこと　…　（　３０　）時間